



令和 6 年 11 月 21 日
大臣官房公共事業調査室
港湾局技術企画課

「第 1 回 港湾における i-Construction・インフラ DX 推進委員会」の開催 ～ 建設現場の生産性向上に向けた新たな取組や今後の展開等について議論します ～

国土交通省港湾局では、港湾整備における生産性向上の取組を推進するため、「第 1 回 港湾における i-Construction・インフラ DX 推進委員会」を 11 月 26 日（火）に開催します。

国土交通省では、建設現場の生産性向上を目指す、平成 28 年から建設現場の生産性向上策「i-Construction」を推進、令和 2 年からはインフラ分野の DX の取組が進められてきており、令和 5 年度から BIM/CIM 原則適用を開始しました。また、令和 6 年 4 月には、少ない人数で、安全に、快適な環境で働く生産性の高い建設現場の実現を目指す「i-Construction2.0」をとりまとめたところです。

港湾分野においては、令和 5 年度まで「港湾における i-Construction 推進委員会」を設置し、8 回にわたり生産性向上に資する取組について議論してきました。令和 6 年度からは「i-Construction2.0」の実現に向け、より幅の広い議論を行うため、「港湾における i-Construction・インフラ DX 推進委員会」に改め、ICT 施工の拡大、新たな技術の導入、建設生産プロセスの全体最適化、3 次元データの利活用及びデータ連携を進めるための検討を行うとともに、必要な基準類の策定を行うこととしています。

今年度は 2 回の委員会を開催する予定であり、第 1 回委員会では、本年度の取組内容として、ICT 施工、BIM/CIM 活用、人材育成、中長期取組方針について議論します。

なお、本委員会の結果を踏まえて、課題・対応、各種要領等の検討を行うこととしており、第 2 回委員会は令和 7 年 2 月の開催を予定しています。

記

日時：令和 6 年 11 月 26 日（火） 10:00～12:00

場所：（一財）港湾空港総合技術センター 会議室（オンライン併用）

（東京都千代田区霞が関 3-3-1 尚友会館 2 階）

議事内容：i-Construction に係る取組概要、ICT 施工に係る検討、BIM/CIM 活用に係る検討、人材育成に向けた取組、今後の展開

（その他）

- 委員会は別紙に掲げる学識経験者等により構成します。
- 本委員会は非公開ですが、冒頭挨拶（議事開始前）のカメラ撮りは可能です。
- カメラ撮りを希望される方は、当日 9:45 までに直接開催場所までお越し下さい。
- 会議資料及び議事概要は、後日、以下のホームページにて公開します。

https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_fr5_000061.html

【問い合わせ先】

港湾局技術企画課 深津、對木、村上

TEL:03-5253-8111(内線:46538、46526)、03-5253-8677(直通)

委員名簿

＜学識経験者＞

○岩波 光保 東京科学大学 環境・社会理工学院 土木・環境工学系 教授

＜関係団体＞

加藤 雅啓 日本港湾空港建設協会連合会 専務理事

岸本 高彦 一般社団法人 海洋調査協会 事務局長

桐原 弘幸 全国浚渫業協会 業務運営委員会 委員長

柴木 秀之 一般社団法人 港湾空港技術コンサルタント協会 会長

富田 幸晴 一般社団法人 日本海上起重技術協会 専務理事

藤井 敦 一般社団法人 日本潜水協会 専務理事

村岡 猛 一般社団法人 日本埋立浚渫協会 専務理事

＜行政・研究機関＞

小澤 敬二 国土交通省 国土技術政策総合研究所 港湾情報化支援センター長

小澤 康彦 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
港湾空港技術研究所 港湾空港生産性向上技術センター長

富山 新一 海上保安庁 海洋情報部 技術・国際課長

早川 哲史 国土交通省 大臣官房 公共事業調査室長

久田 成昭 国土交通省 港湾局 技術企画課長

※ ○：委員長

（敬称略）